

いずみ市民生協グループの 食品リサイクル・ループについて



とまとちゃん

おにぶん

いずみ市民生協グループ イメージキャラクター

2019年2月15日

大阪いずみ市民生活協同組合

CSR推進室長 竹村 久

(株)ハートコープいずみ

代表取締役社長 古賀 直子

(株)いずみエコロジーファーム

代表取締役社長 神崎 裕也

いずみ市民生協の紹介

(2018年3月末)

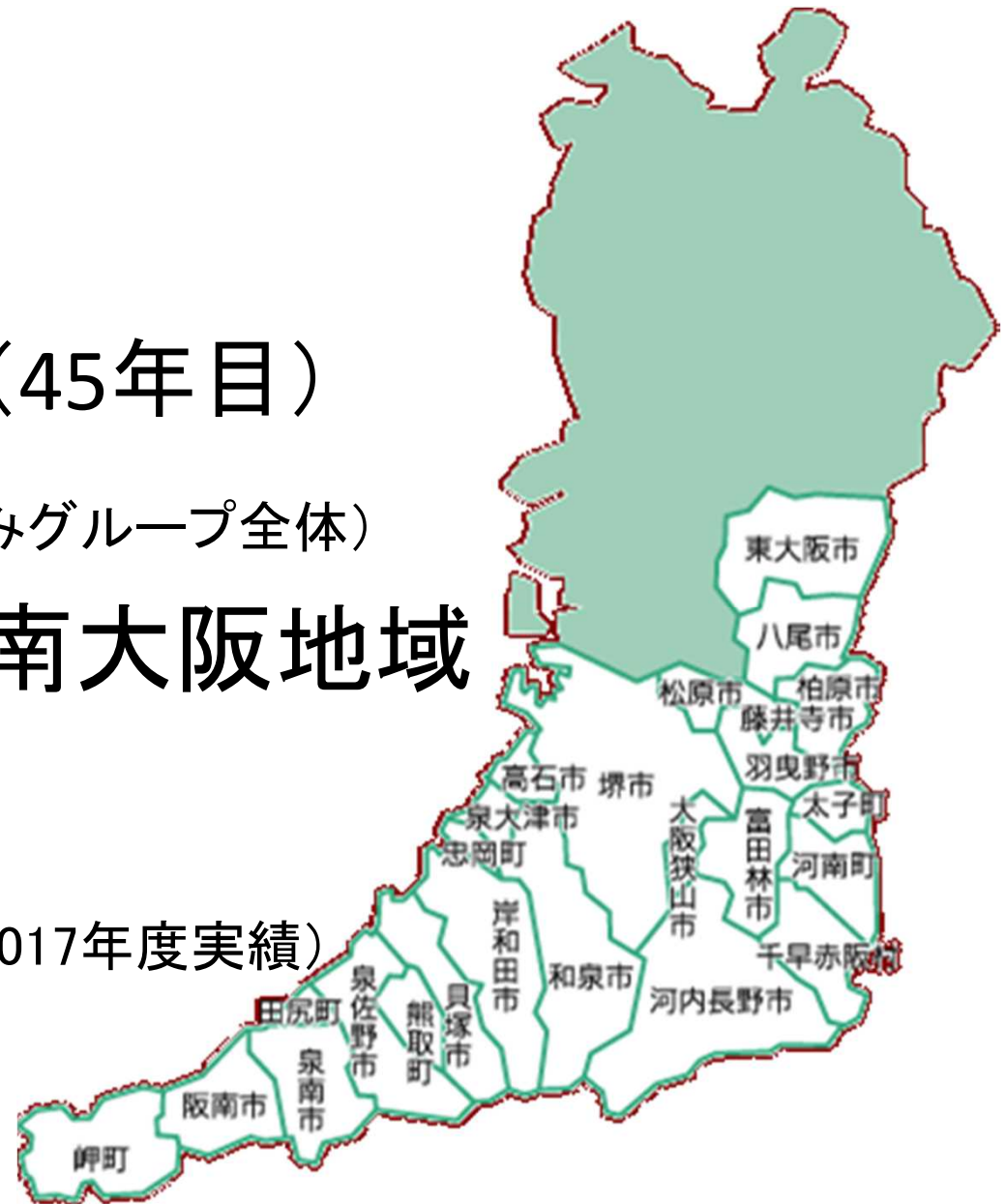
組合員数: 52万世帯

創立: 1974年11月5日(45年目)

職員数: 3,895 名 (いずみグループ全体)

活動エリア: 大阪府下南大阪地域
25市町村

総事業高: 917.0億円 (2017年度実績)



いずみ市民生協の紹介



宅配(班・個配): 568億円

2017年度実績

店舗(12店): 229億円

・福祉事業: 事業高12億円 (): 事業所数

訪問介護(6)、居宅支援(7)、デイケアセンター(2)、介護付有料老人ホーム(3)、定期巡回訪問介護看護(2)、多機能ホーム(2)、介護用品レンタル(1)、グループホーム(1)、サ高住(2)

・その他: カタログ・通販事業38億円、夕食宅配12億円、保障事業8億円など
エネルギー・通信事業(電気小売) 34億円

いずみ市民生協の紹介

共同購入センター

- ① 東大阪ひがし
- ② 東大阪にし
- ③ 八尾
- ④ 藤井寺
- ⑤ 美原
- ⑥ 富田林
- ⑦ 八下
- ⑧ 堺中央
- ⑨ 堺南
- ⑩ 和泉
- ⑪ 忠岡
- ⑫ 貝塚
- ⑬ 泉南

ヘルパーステーション

- ① ふせ
- ② 東花園
- ③ はびきの
- ④ 堺東
- ⑤ 上野芝
- ⑥ 松原
- ⑦ きしわだ

コープのサービス付高齢者住宅

- ① スマイルホーム松原岡
- ② アイメゾン和泉一条院

コープのお店

- ① コープ若江
- ③ コープ城山
- ④ コープ狭山池
- ⑤ コープ大野芝
- ⑥ コープ深阪
- ⑦ コープ和泉中央
- ⑧ コープ久米田
- ⑨ コープ岸和田
- ⑩ コープ貝塚
- ⑪ コープ泉佐野
- ⑫ コープいこらも～る泉佐野

コープアイメゾン

- ① 河内長野
- ② 柏原
- ③ 松原

コープのデイサービス

- ① コープアイケアセンター上野芝
- ② コープのデイサービス松原

コープの多機能ホーム

- ① ふせ
- ② 松原

コープのグループホーム

- ① ふせ



コープふれあい福祉センター

いずみ市民生協の環境政策

環境に配慮した持続可能な社会の実現をめざしています

①脱炭素社会

(温暖化の原因となるCO₂排出の削減)



ISO14001環境マネジメントシステムの運用
省エネ設備への切り替え(LEDなど)
再生可能エネルギーの普及
(つくる・つかう・ひろげるとりくみ)

②循環型社会

(資源の無駄のない活用)



分別によるゴミゼロのとりくみ
リサイクルの事業化
食品リサイクル・ループの構築

③自然共生社会

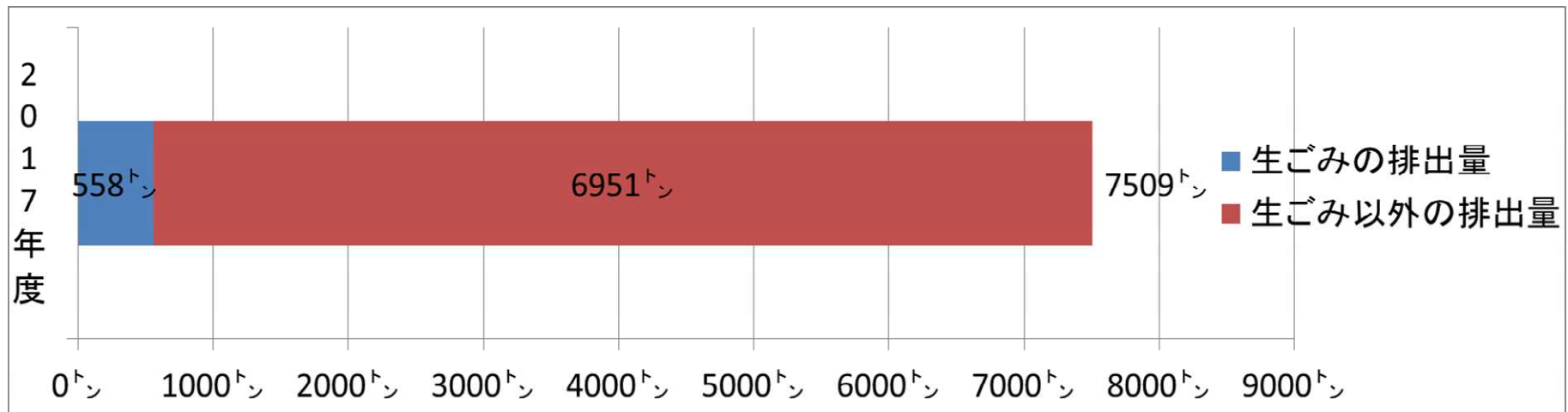
(生物の多様性の保護)



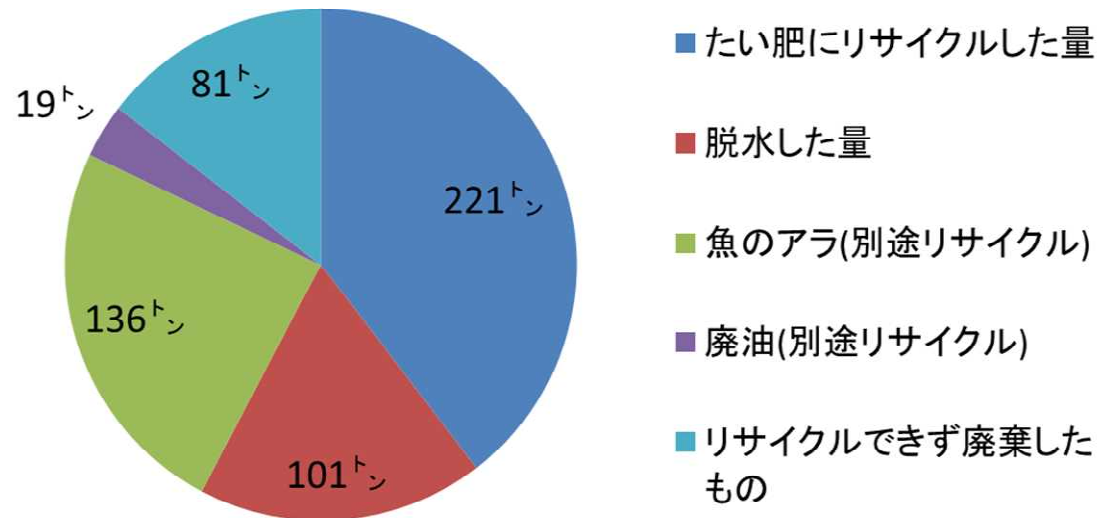
環境配慮商品の普及
産直産地の拡大
(現在91産地・182品目)
エリア内の河川や里山の生き物観察
(組合員活動)

廃棄物について

2017年度の廃棄物の総量は、7509トンでした。そのうち558トン(7.4%)が、食品系廃棄物でした。



事業活動で発生する食品系廃棄物の総量が558トンで、うちリサイクルできずに廃棄している重量が81トン。よって、食品リサイクル率は85.5%でした。



食品リサイクル・ループ

分別することで、ゴミ
を資源として活用す
ることができるよ。

コープのお店や宅配の物流セン
ターなどから出る生ごみを、「た
い肥」にリサイクルして、それを
使って野菜を作り、できた野菜を
またコープのお店などで販売し
ています。

食品リサイクル・ループを完成させるた
めに2010年、ハートコープいずみとい
ずみエコロジーファームを設立しました。

食品 リサイクル・ ループ

野菜

食品
残さ

たい肥

(株)いずみエコロジー
ファーム→

←(株)いずみエコロジー
ファーム
ハートランド 事業部

←(株)ハートコープいずみ

取引業者

2011年、再生利用事業計画が認定されました。

ハートコープいずみでの作業



主にお店から送り込まれてくる生ごみから、包材やたい肥に適さないものを取り除きます。野菜類は脱水機にかけて減量します。
ハートコープには、たい肥化装置が2台あり、3～4日でたい肥が出来ます。



ハートコープいずみの紹介



エコロジーファームでの作業



エコロジーファームにも、農産加工センターから出る野菜の端材をたい肥にする、3台目のたい肥化装置があります。できた堆肥は、和泉市善正町にある畑にもっていき、野菜作りに使用します。



エコロジーファームの紹介

耕作放棄されていた農地約4haを、大阪府の財団法人を通じて農家から借り、食品リサイクル・ループでできた「たい肥」を用いて土づくりからやり直し、農産物を栽培しています。



養液土耕栽培でつくる、ベビーリーフも好評です。計量や袋詰めもおこなっています。



障がい者の自立支援

(株) ハートコープいずみ

いずみ市民生協の、リサイクルに関連した事業を中心に受託し、いずみ市民生協の「特例子会社」として障がい者雇用を促進し、彼らの自立を支援している。障がい者の雇用人数は40人。いずみ市民生協と(株)ハートコープいずみ及び、もうひとつの子会社である(株)コンシェルジュを合わせた障がい者雇用率は、法定2.2%に対し4.8% (2017年度末)。

(株) いずみエコロジーファーム

いずみ市民生協のリサイクル・ループの一翼を担い、農産物の生産販売を中心に行う。「就労継続支援A型事業所」として、障がい者が、仕事を通じて就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を受けている。(株)いずみエコロジーファームを加えたいずみグループ全体の障がい者雇用率は、6.23%(法律上では、就労継続支援A型事業所は、障がい者雇用率にカウントされません)。

いずみ市民生協と、(株)ハートコープいずみ、(株)いずみエコロジーファームは、障がい者の就労支援に積極的に取り組む社会貢献企業として、大阪府障がい者就労支援カンパニーの『優良企業登録証』を受けました。



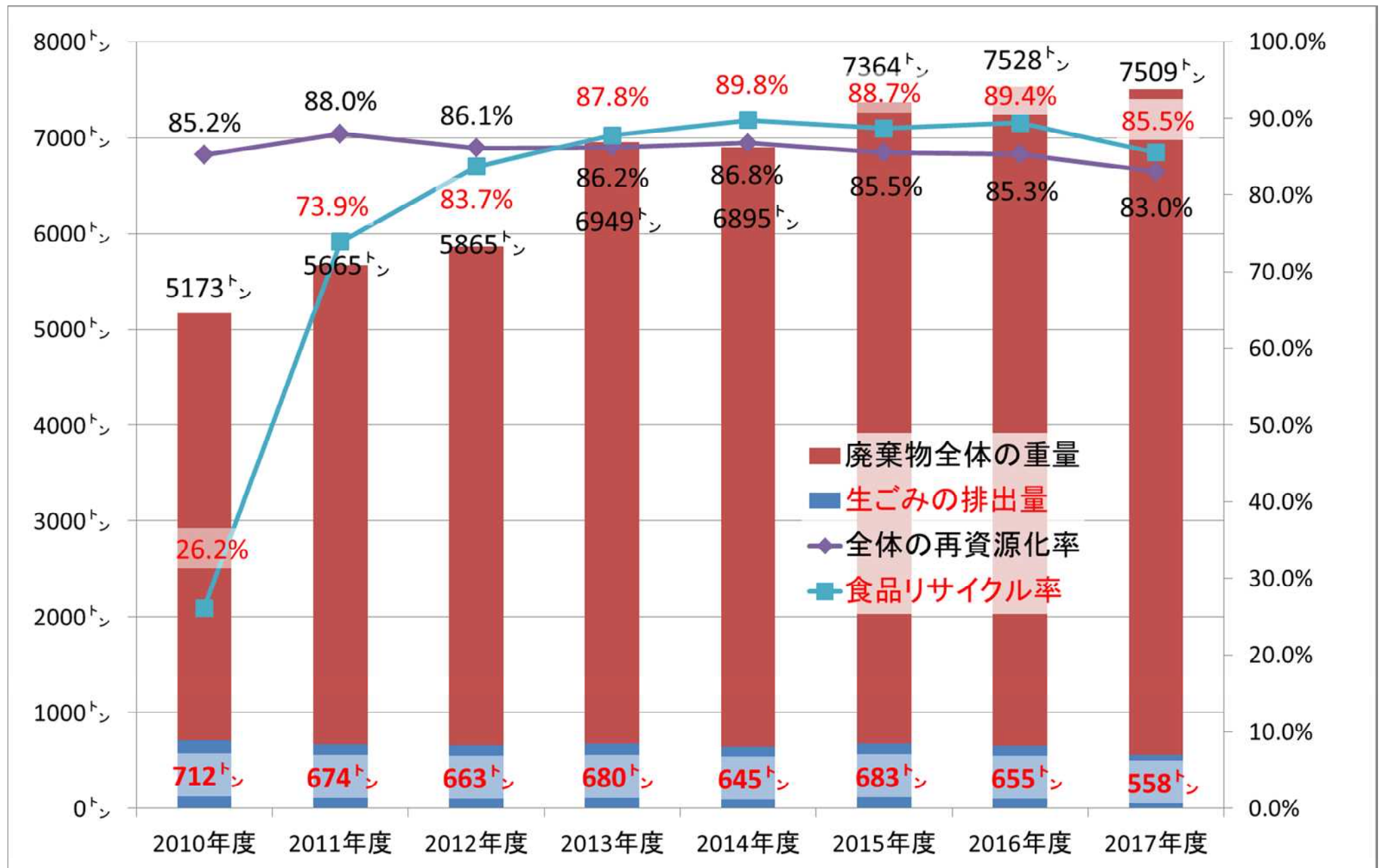
コープのお店



お店では、生ごみを分別し、専用の樽に入れてハートコープに送ります。
飲料など水分の多いものや、肉類などの脂分の多いものは省きます。
店頭では、地場野菜のコーナーなどで販売しています。



ごみ排出量の推移



今後の課題

① 3Rの基本、ゴミ自体の削減

お店では発注の精度を高め、ロスの削減にとりくんでいます

② リサイクル率のさらなる向上

食品ロスやその他の廃棄物の再資源化率を高めます

③ 農地を拡大し、生産性を向上

生産量や品目を増やし、組合員の要望に応えます

④ リサイクルや農業を拡大し、障がい者雇用を拡大

仕事を増やして、障がい者の自立を支援します

⑤ 生活困窮者自立支援法に基づく就労訓練の受け入れ

培ったノウハウを活かし就労困難者の支援をすすめます

⑥ SDGs(持続可能な開発目標)に関連した課題化

優先課題「エシカル消費」: 廃棄ロス削減・子ども食堂等への寄付

堆肥化作業の実施状況①食品残渣の収集

店舗から 170,000kg/年

1日40樽



宅配物流センターから 17,000kg/年

堆肥化作業の実施状況②堆肥化機械へ投入



手作業で包材を分別



専用コンテナにいれ、
リフターで機械へ投入



堆肥化作業の実施状況③包材分別作業



包材はすべて取り除く

20,000kg/年 処分

↑

堆肥の様子をみて、廃棄する食品残渣も含む

堆肥化作業の実施状況④野菜粉碎脱水



水分を40%程度
脱水



堆肥化作業の実施状況⑤堆肥販売



26,000kg/年を製造販売

堆肥化作業の課題①作業環境



8m × 16mのテントハウス
通気性がなく、あつさ・においの問題

あつさ対策として天井取り付けタイプの
スポットクーラーを設置



堆肥化作業の課題②身体的負担



店舗からの残渣の入った樽が重い場合は2名でおろす

野菜をカートから掻き出す作業は短時間でおこなう

堆肥化作業の課題③清掃



縦長の野菜粉碎機は、
はしごを登って清掃

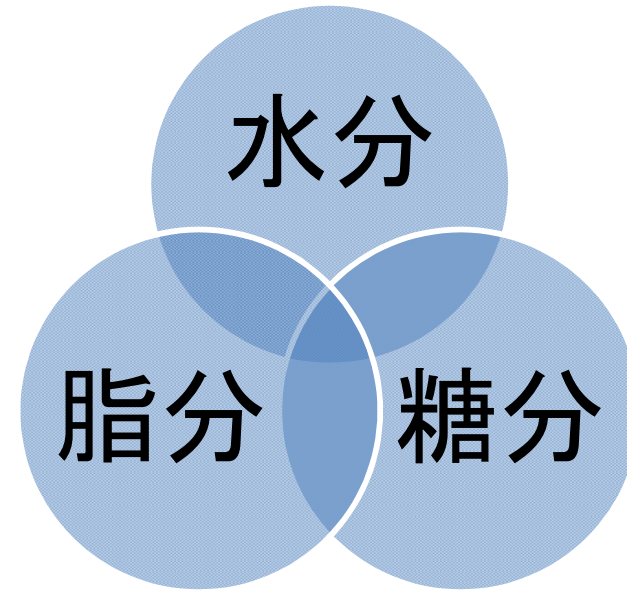
機械と壁のあいだが狭
いところは、長いほうき
等で清掃



堆肥化作業の課題④堆肥品質の維持



機械の天井から毎日点検



バランスが崩れないように
日々調整

堆肥化作業の課題⑤事業性



堆肥販売の収益だけでは、事業継続
できない

- ☆障がい者雇用の促進
- ☆食品リサイクル率の向上
- ☆ごみ処理費用の削減

社会的な活動として



①たい肥積込み



②たい肥まき



③耕運



④收穫作業



⑤冷蔵車に積込み・輸送



⑥検品・袋詰め



⑦台風21号の被害



ご清聴ありがとうございました

